

# 次世代シーケンシング（NGS）の 国際標準規格と精度管理

日時：2019 年 5 月 10 日（金） 17 時 00 分

場所：東京国際フォーラム

第 3 会場〈ホール B7(2)・シアター約 300 席〉

座長

真鍋 俊明 先生（京都大学名誉教授）

演者

長村 義之 先生（慶応義塾大学客員教授／日本鋼管病院病理診断科部長）

演題 1

「CAP の取り組みおよびわが国の現状と今後の方向性」

演者

前田 大地 先生（大阪大学大学院 先端ゲノム医療学共同研究講座特任教授）

演題 2

「大阪大学における CAP 認定取得の経緯と今後の展望」

本邦では、がんの診断・治療において急速な変化が進んでいます。がんゲノム医療中核拠点病院が選定され、一部の NGS は診断薬として承認され間もなく保険収載される段階です。病理医は日々進化していく病理診断に加え NGS を見据えた病理検体の取り扱いや標本作製においてもそれに向けた手順や法規を視野に入れて行わなければなりません。本セミナーでは、本邦で最初の CAP 査察官としてご活躍されている真鍋俊明先生を座長としてお迎えし、国際的にも注目を集めている NGS の標準化・精度管理について今後、病理医がどのように関わっていくべきかをお二人の演者に発表・討議していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。